

けいせん

2016.3.15



「まだ起こっていない未来を先取りして心配しないこと。(中略) いま与えられている現在を感謝して受け、充実して生きる時、未来はその中から思いがけないところへと開かれてゆく。」

(『愛育の庭から 子どもと歩み学ぶ日々』愛育養護学校 発行)

別れの春、出会いの春、新しいことが始まる期待と不安でなんだか複雑な心境... という方も多い季節ではないでしょうか。

卒園式前日、階段の下ですわりこんで話している年長の男の子と女の子。
「あ〜あ、もう一回 幼稚園がいいなあ」。いはは卒園の時を迎え、喜びと同時に不安な気持ちもふくらんできたのでしょう。「幼稚園が丁度良かったね。明日でおわかれと思ってらさみしくなってきたね」と言いつつ、手をたいて階段をのぼりももぐみの部屋まで送りました。ももぐみではいつも通り、お友だちが笑顔いっぱい遊んでいます。二人は「おはよう...」と少しはずかしそうにその中へ入っていきました。

子どもなりに感じている緊張 不安 心配...。それを自分自身の気持ちとして理解している子もいれば、無意識に感じている子もいるかもしれません。そんな子どもたちの思いに私たちは大人はどのように向き合っていけばいいのでしょうか。

わが子への、その子への思いが強ければ強いほど「〜あってほしい」という期待が大きくなったり、「大丈夫かしら？」と心配も大きくなるのが親心です。それは当たり前前のこと。でも、始めに書いて、津守真先生(幼児教育専門家)の言葉が心のどこかにあるだけで、すーっと気持ちが軽くなり、安心して前にすすめるような気がします。子どもの今の姿を受けとめる、今を感謝して生きる。子どもの持っている力を信じて待つ。... 思いがけない未来とはどんな未来でしょうか。

ご卒園・進級 おめでとうございます。
これから始まる新しい歩みの上に、神様様の祝福がゆたかにありますように、(ババ)お祈り致します。